

令和 6 年度第 4 回甲賀市地域福祉計画審議会 会議録

【日時】 令和 7 年 2 月 13 日（木曜日） 1 0 時 0 0 分～1 1 時 3 0 分

【場所】 水口社会福祉センター 会議室 1

◎出席委員

名簿：別紙 1 のとおり

◎次第

1 開会

2 報告事項

・パブリック・コメントの実施結果について

3 審議事項

・第 2 次甲賀市地域福祉計画〈第 3 期見直し版〉（案）について

・第 2 次甲賀市地域福祉計画〈第 3 期見直し版〉概要版（案）について

4 その他

・厚生労働省 第 8 回地域共生社会の在り方検討会議の報告

5 閉会

1 開会

○ 市民憲章唱和

2 報告事項

・パブリック・コメントの実施結果について

事務局より説明

3 審議事項

- ・第2次甲賀市地域福祉計画〈第3期見直し版〉(案)について
- ・第2次甲賀市地域福祉計画〈第3期見直し版〉概要版(案)について

【会 長】

事前に配布していました、第2次甲賀市地域福祉計画〈第3期見直し版〉(案)、第2次甲賀市地域福祉計画〈第3期見直し版〉概要版(案)について気になる点、質問事項のある方は挙手をお願いします。

質問等無いようですので、甲賀市地域福祉計画審議会規則の第3条3項に、「会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。」とあり、今回の議題につきまして、挙手の形で賛否を問いたいと思います。

まずは賛成の方。

全員賛成ですね。ありがとうございました。

続いて、厚生労働省第8回地域共生社会の在り方検討会議の報告に移ります。

【事務局】

厚生労働省 第8回地域共生社会の在り方検討会議の報告（事例紹介も含めて）

【会 長】

ありがとうございました。 ご質問、コメント等ございませんか。

【委 員】

この色々な事例に集まってくる人たちは、どうやって集まってくるのか。みなさんどこで知るのか。

【事務局】

市が束ねて発信しているのではなく、主催の方たちがチラシを作ったりして発信されている。

【委 員】

たまたまその情報を目にした人はいいが、限られた人しか知らないのではないか。こんな良いことをしているのに、みんながもっと知ってくれたらいいのと思う。

【会 長】

ありがとうございました。ほかにございませんか。

【委 員】

事例集について、私が関わりのある人たちの事業がたくさん載っていて、うれしい気持ちになったのが率直な感想である。

活動をしている人たちについて、実は次のステップがあって、関わっている人たちが自発的にマラソン大会に出たいとチームを作って出場した。それに私も関わっていたのだが、結果は70チームくらいのうち33位、第33回大会記念品のお茶1ケースを獲得し、それをどうするのか見守っていたところ、次の活動する日に持っていくよと言って、それを聞いてとてもいいなあと思ったのと、自発的にされている活動が芽を出してきているという実感があった。それがいろんな人にもっと伝わっていけばいいなと思った。

【会 長】

ありがとうございました。受けた恩を返すとは良いことですね。ほかに何かございませんか。

【委 員】

身寄り問題もそうだが、最近何の権限もない人との関係性が大事だと思っていて、例えば成年後見人は色んな権限を持つが、身元保証とは、何の見返りも求めないがその人にいろんなことが起こったら助けてもらいたいということの関係性である。

現在、その身元保証というのが成り立たなくなっている。専門職はどうしても何らかの圧がある。何の権限もない人との関係性の大事さというのは、意思決定支援についてもそうなのだが、色々と思うことがあり、そのあたりを行政がバックアップする中で作っていくのはいいことですが、集まるだけではなくて集まった後、先ほど委員さんが話してくださったようにつながることが大切である。

ただ、そこに来られるというところまでのハードルが高いと感じる。行くのはすごく大変なので、行けない人たちもいっぱいいるから、そこらへんがもっとこれからの課題で、楽しみなどである。

【会 長】

ありがとうございました。

私の気づいた点を3つお伝えしたいと思います。

1 点は、2 月 21 日に豊中市社会福祉協議会の勝部さんのお話があり、締め切りが本日ですが聞きたい方はぜひ。

2 点目、コーディネーターが必要であるということで、私が小学生のころ、隣近所の子供たちと単なる遊びをしていた中で、地域の子供の交流みたいな遊びというのがあった。その中で新聞を作ろうかということになり、何となく何日か続いていた。それがどこでどう伝わったのか知らないが、市の野球チームの青少年の係の人がその新聞を題材的にとらえられて、その新聞が何で始まったのかを知りたいと連絡が来た。ここまでは良かったのだが、その人が中学生に野球を教えていたから忙しくてそちらから来てくれと言われた。私は小学生だったので、自転車で 30 分以上かかるところまで一人で行けなくて、その話は立ち消えになってしまった。「コーディネートする」というのは、相手の立場に立たないといけないので、そういうことをしていかないと、なかなかつながりや発掘が難しいのかなと思う。

3 点目、2 月 15 日に淑徳大学で国際シンポジウムがあり、その話題がアジアの新しいソーシャルワークである。西洋は契約に基づくので計画を立てて完成していく、この流れは基督教の教えが元にあるのだが、「面接」のときの技法である。日本は西洋とは違い、相談機関よりも施設中心、共同生活する福祉が中心なので、西洋とは合わない。日本は「一緒に居ることが大事、それ自体が大事でそれ自体が大事でそれ自体が成功」である。価値観が違って、そういう流れがアジア中心に出てきている。甲賀市の話の世界に広めてこようと思う。

以上で本日の議題は全て終了いたしました。委員の皆様にはそれぞれの立場なりからのご意見をいただき、また円滑な議事の運営にご協力いただき、ありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しいたします。

【事務局】

栗田会長、ありがとうございました。委員の皆様におかれましても長時間にわたる審議会の中で多くのご意見をいただきありがとうございました。

今後、議会での承認を経て 3 月に見直し版が完成します。

なお、委員の皆様の任期ですが、本年 3 月 31 日をもちまして満了となります。在任中はご多忙な中、ひとかたならぬご尽力を賜り誠にありがとうございました。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

5 閉会

それではこれで閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました。どうぞお気をつけてお帰りください。